

紫陽花と社寺・眺望は陸の松島？  
太平山・晃石山

実施日 2013年6月22日(土)  
天候 晴後雷雨  
リーダー 鈴木 恵美子  
参加者 佐藤 金治、涌井 良明、一柳 富美  
昭、服部 美千代、山崎 久雄、塚  
徳、山敬子、友近 洋子、関  
七海、鈴木 恵美子 計11名  
費用 電車(浅草起算)往 940円、復1、  
130円 計2,070円  
タイム 新大平下駅(8:40)太平山登山口  
(9:13~9:20)太平少年自然の家  
(9:50~9:55)太平山神社(10:32~  
10:48)太平山山頂(11:05~11:1  
5)晃石山(12:00~12:38)桜峠(13  
:10~13:30)馬不入山(14:00)鷲  
神社(14:30~14:35)岩舟駅(15:0  
5~15:30)  
行動 6時間25分 実動 4時間46分

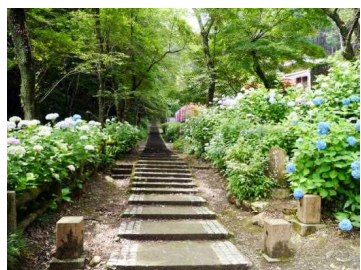
前日まで天気予報とにらめっこし、迷  
っていたが、当日朝はよく晴れ、ホッと  
胸を撫で下ろす。新大平下駅の東口を出  
て、東武日光線の線路沿いの車道を栃木



駅方面に進む。車  
道を歩くこと約30  
分で、太平山登山  
口。W氏の提案で、  
予定のコースでは  
予ないが、紫陽花を  
見ため、ちよっじ  
と遠回りしてあじ

さい坂の方に行くことにする。しばらく  
行くと石段が二手に分かれてあり、左の  
方を登ったため、客人神社は巻いてしま

ったようだ。あじ  
さい坂は、六角堂  
前から随神門に至  
る太平山神社表参  
道の石段両側に、  
色とりどりの紫陽  
花が咲き競い、見  
事だ。この約1,000



段の地獄の石段をやっとこさ登り切ると  
太平山神社。そこから約5分で奥宮。更  
に15分ほどで太平山山頂だ。山名を書  
いた小さな板が木に括り付けてあるだけ  
だ。集合写真を撮り、晃石山に向かう。  
西斜面を急下降し、晃石山無線中継所に

続く車道を横断し、再び山道に入る。途  
中、パラグライダー場があり、2基のパ  
ラグライダーが飛  
んでいた。ぐみの  
木峠で、左に大中  
寺への道を分け、  
尾根通しに進む。  
小ピークを越え、左  
鞍部に出了所で左  
の山腹道を行き、  
晃石神社に着く。拝  
殿の右手から急斜  
面に出る。先発  
の親子連れの団体  
が山頂に陣取り、  
山頂を越えて、少  
し西に下った斜面



で昼食にした  
が、食べ終る前  
に雨が降り出し、  
慌てて雨具を  
着ける。山頂  
を西尾根を下  
り、小さなピー  
クをいくつか越  
え、手摺のつ  
いた階段道を下  
りきると、桜峠。  
雨が止んだため、  
東屋でカップを  
脱ぎ、ザックに  
しまうのに必死  
で、ガイドブック  
の巨木があると  
書いてあったが、  
気づかず残念！  
もう降らないか  
と思いきや、下  
山を再開して間  
もなくまた雨が  
降り出し、カッ  
パを着る。雷も  
鳴り出す。清水  
寺へ下る道を左  
に分け、いくつ  
かの小ピークを  
越え、馬不入山  
に着。真撮り  
不集雨の中、下  
山を車道に選  
道か山道か、の  
選択を迫られ、  
W氏のピタゴラス  
の定理の講義に  
より、また山道  
へ。岩船山を巻  
いて岩舟駅へ出  
る予定だったが、  
雨のため、車道  
を選ぶ。大きな  
船の形を右に見  
ながら、岩舟駅  
に着いた途端、  
すっかり晴れて  
今まだ雨の嘘の  
よう。雨と雷で  
大変な一日だ  
ったが、雨中歩  
行の訓練ができ  
たと肯定的に考  
え、自らを慰め  
る。参加された  
皆さん、サポート  
してくださった  
方々、お疲れ様  
、そしてありが  
ございました。ま  
た一緒に付き合  
いたら嬉しいで  
す。



(記・鈴木 恵美子)  
(写真提供・涌井 良明)